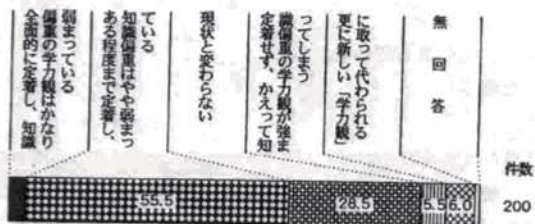


Q15. 新しい学力観

	合計	一回目調査					二回目調査						
		全面的に定着し知識偏重は弱くなる	ある程度定着し知識偏重はやや弱くなる	現状と変わらない	定着せず知識偏重が強まってしまふ	更に(新・新学力観)に取って代わられる	全面的に定着し知識偏重はかなり弱まっている	ある程度定着し知識偏重はやや弱まっている	現状と変わらない	定着せず知識偏重が強まってしまふ	更に(新・新学力観)に取って代わられる	無回答	
合計	104	5	45	32	11	11	200	7	111	57	11	12	2
	100.0	4.8	43.3	30.8	10.6	10.6	100.0	3.5	55.5	28.5	5.5	6.0	1.0
性別													
男	96	4	43	29	10	10	184	6	101	53	10	12	2
	100.0	4.2	44.8	30.2	10.4	10.4	100.0	3.3	54.9	28.8	5.4	6.5	1.1
女	8	1	2	3	1	1	16	1	10	4	1	-	-
	100.0	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	100.0	6.3	62.5	25.0	6.3	-	-
年齢													
20才代	-	-	-	-	-	-	2	-	50.0	-	-	1	-
	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	50.0	-	-	50.0	-
30才代	6	1	2	2	1	-	11	-	45.5	36.4	9.1	9.1	-
	100.0	16.7	33.3	33.3	16.7	-	100.0	-	45.5	36.4	9.1	9.1	-
40才代	17	1	6	4	3	3	43	1	18	16	3	4	1
	100.0	5.9	35.3	23.5	17.6	17.6	100.0	2.3	41.9	37.2	7.0	9.3	2.3
50才代	14	-	7	3	2	2	37	1	17	9	5	4	1
	100.0	-	50.0	21.4	14.3	14.3	100.0	2.7	45.9	24.3	13.5	10.8	2.7
60才代	40	2	18	14	2	4	66	3	40	21	2	-	-
	100.0	5.0	45.0	35.0	5.0	10.0	100.0	4.5	60.6	31.8	3.0	-	-
70才代	23	1	11	9	2	-	37	2	28	5	-	2	-
	100.0	4.3	47.8	39.1	8.7	-	100.0	5.4	75.7	13.5	-	5.4	-
80才代	2	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
90才代	1	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-

Q 15. 2010 年において、「新しい学力観」はどうか?



第1回調査結果 ある程度まで定着し、知識偏重の学力観はやや弱まる【43.3%】
現状と変わらない【30.8%】

「ある程度まで定着し、知識偏重はやや弱まっている」がもっとも多く55.5%、「現状と変わらない」28.5%が続いており、ほぼ第1回調査の結果と同じ傾向を示している。

<自由回答まとめ(1回目調査)>

Q15. 2010年における「新しい学力観」の定着水準予測

Q15-A. 予測の理由・根拠

〔定着していると思う理由〕

- ・個人のより自由な意思が尊重されるようになるため。
- ・教師の学力観、考え方が変わるため。
- ・体験学習が重視されるため。
- ・高校入試、大学入試が改善されるため。
- ・教育機関がレベルアップするため。
- ・マルチメディアが普及するため。

〔現状と変わらないと思う理由〕

- ・教員が新しい学力観を身をもって指導することができないため。
- ・担当する生徒の数が変わらない限り無理なため。
- ・義務教育段階では一定の基礎知識の習得も必要であるため。
- ・先生も親も急に考え方は変わらないため。

〔新・新学力観に取って代わられると思う理由〕

- ・教科書の多様化と機能変化のため。
- ・一部の政界、財界、社会等からの圧力があるため。
- ・大学高校の受験のあり方が変わってきているため。
- ・教科書の再編が行われるため。

Q15-B. その結果、何が最も変わるか

〔定着した場合〕

- ・より多様な生活様式が生まれ育つ。
- ・体験学習を取り入れる。
- ・学習塾の多様化。
- ・人間性を重視した教育の展開が期待できる。
- ・個人的、専門的知識への志向が高まる。
- ・学力に対する価値観や教育方法が変化する。

〔新・新学力観に取って代わられた場合〕

- ・教育内容、方法が変化する。
- ・子供を主体とした教育が生まれる。
- ・学力を評価しようという人間評価観が変わっていく。
- ・多様な協働ができる社会になる。